

事業 番号	事業名	内 容	対象外 項目番号
	清掃総務運営事務事業		
1	虫窪スポーツ広場・西久保ゲート ボール場管理事業	両施設の維持管理	-
2	清掃総務運営事務事業	美化センター運営事務	②
3	美化センター維持管理事業	管理棟及び付属施設の維持管理	-
4	一般廃棄物処理手数料賦課徴収事 業	し尿処理手数料、ごみ処理手数料等の賦課徴収事務	-
5	ごみ収集運搬事業	可燃ごみ、資源ごみ等収集事業、剪定枝収集運搬事業	-
	ごみ処理事業		
6	リサイクルセンター運営管理事業	リサイクルセンター運営管理事務	-
7	し尿収集運搬事業	汲み取りトイレ及び仮設トイレ等のし尿の収集運搬業務	-
8	し尿処理事業	し尿処理施設の維持管理	-
9	し尿処理施設維持整備事業	し尿処理施設の機能維持のための機器の補修整備及び定期点検	-

令和4年度事務事業一覧表

事業 番号	事業名	持続可能な開発目標 (SDGs)																
		G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	G12	G13	G14	G15	G16	G17
	清掃総務運営事務事業																	
1	虫窪スポーツ広場・西久保ゲート ボール場管理事業												○				○	
2	清掃総務運営事務事業												○				○	
3	美化センター維持管理事業												○				○	
4	一般廃棄物処理手数料賦課徴収事 業												○				○	
5	ごみ収集運搬事業												○				○	
	ごみ処理事業																	
6	リサイクルセンター運営管理事業												○				○	
7	し尿収集運搬事業												○				○	
8	し尿処理事業												○				○	
9	し尿処理施設維持整備事業												○				○	



予算事業名	清掃総務運営事務事業				事業番号	04 - 15 - 01						
細分事業名	虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場管理事業				シート作成日	令和4年8月15日						
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	01	事業	02	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

計画 (Plan)	総合計画	P	柱	—			
			部門	—			
			大施策	—			
			中施策	—			
			施策目標	—			
	事業の概要			根拠法令・条例等	—		
				個別計画等	—		
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—	実施項目名	—
	目的 (何のために)			虫窪スポーツ広場及び西久保ゲートボール場の適正な維持管理を行う。			
	対象 (誰を・何を)			虫窪地区住民・西久保地区住民・町民スポーツ団体			
内容			ごみ焼却処理施設の建設、し尿旧投棄場跡地の地元還元施設として整備した両施設の管理運営を行う。				

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	
		財源内訳	千円	1,365	1,472	1,472	1,512	
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
	一般財源	1,365	1,472		1,472	1,512		
	職員人数 (概算職員数)	人	0.11	0.11	0.09	0.10		
	人件費計 (b)	千円	477	486	466	559		
総事業費 (a) + (b)	千円	1,842	1,958	1,938	2,071			
事業費内訳 (千円) R 04 年度		虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場水道料21千円 虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場草刈委託料814千円、用地借上料677千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値			
		—			—			
指標値	指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	利用団体数 (虫窪及び西久保)	団体	—	11	11	11	11
	活動指標 (活動量)	利用日数 (虫窪及び西久保)	日	計画値	100	100	100	100
				実績値	138	210	—	—
	成果指標 (達成度等)	利用率 (利用日数/365)	%	目標値	27	27	27	27
実績値				38	57	—	—	
達成率				140.7%	212.1%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	② 廃止・休止による影響は小さいがある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	④ 成果を計ることはなじまない		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価等における指摘事項		—		
主な改善経過(過去4年間)		R02: 虫窪スポーツ広場仮設トイレの更新を行った。			
課題		スポーツ広場、公園等との一元管理することにより効率的な利用を図ることを検討する必要がある。			

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	<b>維持</b>	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	
		理由	引き続き、事業の継続が必要であり、地元還元施設として維持管理していくべきである。							
	課題解決に向けて着手する取組事項	R04年度	地元への要望確認、関係課との調整を行う。							
		R05年度	地元への要望確認、関係課との調整を行う。							
	R04年度改善事項		老朽化した駐車場フェンスの修繕を行い、利用者に快適な利用環境を提供した。							
	記入日									
	令和5年3月20日									

予算事業名	美化センター維持管理事業				事業番号	04 - 15 - 03						
細分事業名	—				シート作成日	令和4年8月15日						
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	01	事業	03	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

計画 (Plan)	総合計画	P	柱	—		
			部門	—		
			大施策	—		
			中施策	—		
			施策目標	—		
	事業の概要	根拠法令・条例等		—		
		個別計画等		—		
		行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—
		目的 (何のために)	美化センター管理棟及びその附属施設の維持管理			
		対象 (誰を・何を)	し尿、ごみ及び動物等の処理を依頼する町民等			
内容		美化センター管理棟の維持管理及びその附属施設の保守点検、清掃等を実施する。				

実施 (Do)	執行体制		職員実施					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	
		財源内訳	千円	529	778	2,375	1,636	
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
	一般財源	529	778		2,375	1,636		
	職員人数 (概算職員数)	人	0.50	0.30	0.31	0.31		
	人件費計 (b)	千円	2,604	1,504	1,503	1,515		
総事業費 (a) + (b)	千円	3,133	2,282	3,878	3,151			
事業費内訳 (千円) R 04 年度		需用費153千円、通信運搬費・手数料366千円、委託料800千円、物品借上料317千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値			
		—			—			
指標値	指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	開庁日数	日	—	310	310	310	310
	活動指標 (活動量)	事業費	千円	計画値	857	857	857	857
				実績値	778	2,375	—	—
	成果指標 (達成度等)	床面積あたりの事業費 (事業費/447㎡)	%	目標値	1,631	1,631	1,631	1,631
実績値				1,740	5,313	—	—	
達成率				106.7%	325.8%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
		過去の外部評価等における指摘事項	—		
	主な改善経過(過去4年間)	R03:「管理棟屋上防水修繕」「各部天井補修工事」「各部天井塗装工事」「場内区画線設置工」を実施した。			
	課題	施設及び場内の樹木等の維持管理費がかかる。 し尿処理施設更新の延期に伴い、施設老朽化への対応が必要。			

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	<b>維持</b>	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	
		理由	引き続き、事業の継続が必要であり、維持管理していくべきである。							
	課題解決に向けて着手する取組事項	R04年度	美化センター構内の樹木伐採を行う。							
		R05年度	美化センター管理棟倉庫室内の雨漏り修繕(予定)							
	R04年度改善事項	美化センター管理棟内、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため男性用トイレ小便器のフラッシュバルブ及び男性用・女性用トイレ手洗器を自動洗浄器へ更新、また省電力化のためエントランスホールの照明器具をLED式に変更、さらに構内の安全確保のため杉2本及び危険樹木1本の伐倒を実施した。								
	記入日									
	令和5年3月20日									

予算事業名	一般廃棄物処理手数料賦課徴収事業				事業番号	04 - 15 - 04						
細分事業名	—				シート作成日	令和4年8月15日						
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	01	事業	04	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

計画 (Plan)	総合計画	P	柱	—			
			部門	—			
			大施策	—			
			中施策	—			
			施策目標	—			
	事業の概要	根拠法令・条例等		大磯町廃棄物の処理及び清掃に関する条例			
		個別計画等		—			
		行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—		実施項目名	—
		目的 (何のために)		町民生活の公衆衛生の向上			
		対象 (誰を・何を)		し尿、ごみ及び動物等の処理を依頼する町民等			
内容		し尿、ごみ及び動物の死体等の処理手数料の賦課徴収を行う。					

実施 (Do)	執行体制		職員実施					
	事業費	直接事業費 (a)	千円	759	689	596	631	
		財源内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
			一般財源		759	689	596	631
	職員人数 (概算職員数)	人	0.76	0.67	0.67	0.74		
	人件費計 (b)	千円	2,769	2,263	2,320	2,794		
	総事業費 (a) + (b)	千円	3,528	2,952	2,916	3,425		
事業費内訳 (千円) R 04 年度		賦課徴収事務消耗品代8千円、賦課徴収事務印刷製本代430千円、賦課徴収事務手数料193千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値			
		—			—			
指標値	指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	汲み取り賦課件数	件	—	210	210	200	200
	活動指標 (活動量)	汲み取り賦課件数	件	計画値	210	210	200	200
				実績値	200	200	—	—
	成果指標 (達成度等)	徴収率 (該当する現年度)	%	目標値	100	100	100	100
実績値				100	100	—	—	
達成率				100.0%	100.0%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
事業の上位施策に向けた貢献度は大きい		④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している			
公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある		
	過去の外部評価等における指摘事項	-			
	主な改善経過(過去4年間)	美化センター各種手数料滞納整理実施計画に基づき必要に応じて訪問徴収を行った。令和元年度の現況調査により、し尿くみ取り台帳の更新を行い、以降継続して台帳管理を行っている。手数料改訂に伴う対応を行った。			
	課題	町外への転出者等に対する対応の検討が必要である。常習未納者への訪問徴収。			

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	<b>維持</b>	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持
		理由	引き続き、事業の継続が必要であり、適正に賦課徴収を行う必要がある。						
	課題解決に向けて着手する取組事項	R04年度	美化センター各種手数料滞納整理実施計画に基づき、必要に応じて訪問徴収等を実施する。						
		R05年度	美化センター各種手数料滞納整理実施計画に基づき、必要に応じて訪問徴収等を実施する。						
	R04年度改善事項	美化センター各種手数料滞納整理実施計画に基づき、訪問徴収等を実施した。							
	記入日	令和5年3月20日							

予算事業名	ごみ収集運搬事業				事業番号	04 - 15 - 05						
細分事業名	—				シート作成日	令和4年8月15日						
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	02	事業	01	事業開始年度	昭和53年度（不燃ごみ）昭和60年度（可燃ごみ）
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

計画 (Plan)	総合計画	P	柱	—			
			部門	—			
			大施策	—			
			中施策	—			
			施策目標	—			
	事業の概要	根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
		個別計画等		大磯町分別収集計画・大磯町一般廃棄物処理基本計画			
		行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—		実施項目名	—
		目的 (何のために)	排出された廃棄物を適正に収集することにより、衛生的な生活環境の保全を図る。				
		対象 (誰を・何を)	全町民				
内容		一般家庭から排出される可燃ごみ、資源ごみ等を委託により適正かつ効率的に収集する。					

実施 (Do)	執行体制		全部委託					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	
		財源内訳	千円	189,503	193,367	193,367	194,000	
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
	一般財源	189,503	193,367		193,367	194,000		
	職員人数 (概算職員数)	人	0.70	1.05	1.50	1.52		
	人件費計 (b)	千円	4,123	6,202	8,722	8,844		
総事業費 (a) + (b)	千円	193,626	199,569	202,089	202,844			
事業費内訳 (千円) R 04 年度		ごみ収集運搬委託料194,000千円						
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			—			—		
	指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	人口 (7月1日時点)	人	—	31,150	31,564	31,385	30,484
	活動指標 (活動量)	委託収集量	t	計画値	8,000	8,000	7,801	8,000
				実績値	8,412	8,166	—	—
成果指標 (達成度等)	1t当たりの収集経費 (直接事業費/委託収集量)	円	目標値	23,800	23,800	24,870	23,800	
			実績値	23,000	23,700	—	—	
			達成率	96.6%	99.6%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
	過去の外部評価等における指摘事項	—			
主な改善経過 (過去4年間)	収集業者と毎月定例会を行い、町民サービス向上に向け、意見交換等を行っている。				
課題	平成30年度の大磯町リサイクルセンター稼働後、可燃ごみ、資源ごみ等(容器包装プラスチック、ペットボトル、不燃ごみ等)が大磯町美化センターへ搬入となっている。効率的な収集体制の見直し、また、家庭系ごみの有料化などの収集方法の検討が必要となる。				

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	
		理由	引き続き、事業を継続し、町内の衛生的な生活環境の保全を図る必要がある。							
	課題解決に向けて着手する取組事項	R04年度	リサイクルセンターの運用面を踏まえ、効率的な収集運搬体制の再構築を図る。また、令和2年度に行った「家庭ごみの収集方法等に関するアンケート」を基に家庭系ごみの有料化の検討などを行う。							
		R05年度	リサイクルセンターの運用面を踏まえ、効率的な収集運搬体制の再構築を図る。また、令和2年度に行った「家庭ごみの収集方法等に関するアンケート」を基に家庭系ごみの有料化の検討などを行う。							
	R04年度改善事項	リサイクルセンターの運用面を踏まえ、効率的な収集運搬体制の再構築及び家庭系ごみの効率的な収集方法の検討を行った。また、折り畳みごみ集積ボックスの貸し出しを行い、衛生的なごみ収集の実施に務めた。								
	記入日									
	令和5年3月20日									

予算事業名	ごみ処理事業				事業番号	04 - 15 - 06						
細分事業名	リサイクルセンター運営事務事業				シート作成日	令和4年8月13日						
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	02	事業	05	事業開始年度	平成30年度
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

計画 (Plan)	総合計画	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり				
		部門	18 廃棄物処理				
		大施策	A 廃棄物処理の推進				
		中施策	(3) ごみ処広域化の推進				
		施策目標	広域処理施設の適正運営				
	事業の概要	根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
		個別計画等	大磯町分別収集計画・大磯町一般廃棄物処理基本計画、平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画				
		行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—		実施項目名	—
		目的 (何のために)	平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化により、大磯町と二宮町のごみの中間処理や選別、保管など、リサイクルセンターの適切な運営を行う。				
		対象 (誰を・何を)	全町民				
	内容	リサイクルセンターの運営、管理 大磯町のごみを広域処理施設や民間処理業者へ搬出するために選別・保管を行う。大磯町及び二宮町の容器包装プラスチック、ペットボトルの中間処理を行い、資源化に取り組む。					

実施 (Do)	執行体制		全部委託								
	事業費	直接事業費 (a)	千円	R01年度 (決算)	151,643	R02年度 (決算)	152,790	R03年度 (決算見込)	150,552	R04年度 (予算)	151,836
		財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金								
			起債								
			その他		77,137	96,205	85,959	89,925			
			一般財源		74,506	56,585	64,593	61,911			
	職員人数 (概算職員数)	人	1.66	1.71	1.24	1.34					
	人件費計 (b)	千円	9,777	10,101	6,894	7,467					
	総事業費 (a) + (b)	千円	161,420	162,891	157,446	159,303					
事業費内訳 (千円) R 04 年度	運営委託料151,387千円、再商品化委託料449千円										

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			資源化率				32.9%以上	
	指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	容器包装プラスチック及びペットボトルの大磯町・二宮町の排出量	t	—	1,071	1,068	1,160	1,146
	活動指標 (活動量)	リサイクルセンター稼働日数 (プラ・ペット選別作業日)	日	計画値	261	260	245	244
				実績値	246	243	—	—
	成果指標 (達成度等)	分別基準適合物引渡し実績	t	目標値	760	870	824	860
実績値				835	782	—	—	
達成率				109.9%	89.9%	—	—	
定性的成果	—							

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
		過去の外部評価等における指摘事項	—		
	主な改善経過 (過去4年間)	運営事業者と毎月定例会を行い、町民サービス向上に向け、意見交換等を行っている。			
	課題	平成30年度リサイクルセンター稼働後、可燃ごみ、容器包装プラスチック、ペットボトル、不燃ごみ等が大磯町美化センターへ搬入となっている。更に資源化の推進、効率的な運搬を図る。			

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	
		理由	引き続き、事業を継続し、リサイクルセンターの運営・管理を通して、更なる資源化の推進、効率的な運搬を図る必要がある。							
	課題解決に向けて着手する取組事項	R04年度	大磯町のごみを広域処理施設や民間処理業者へ安全に搬出するため、搬入された廃棄物の適切な処理（選別・保管）を行い施設の効率的な稼働を図る。 また、大磯町及び二宮町の容器包装プラスチック、ペットボトルの中間処理を行い、資源化に取り組む。							
		R05年度	大磯町のごみを広域処理施設や民間処理業者へ安全に搬出するため、搬入された廃棄物の適切な処理（選別・保管）を行い施設の効率的な稼働を図る。 また、大磯町及び二宮町の容器包装プラスチック、ペットボトルの中間処理を行い、資源化に取り組む。							
	R04年度改善事項	搬入された廃棄物の適切な処理及び町外処理施設への安全な運搬の実施や、運営事業者が実施する毎月の定例会において、町民サービス向上に向けた意見交換を行い施設の効率的な稼働を行った。 また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためリサイクルセンター内トイレの一部手動式だった3カ所の手洗器を自動洗浄式に更新した。								
	記入日									
	令和5年3月20日									

予算事業名	し尿収集運搬事業							事業番号	04 - 15 - 07			
細分事業名	—							シート作成日	令和4年8月15日			
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	03	事業	07	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

計画 (Plan)	総合計画	P	柱	—								
			部門	—								
			大施策	—								
			中施策	—								
			施策目標	—								
	事業の概要	根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
		個別計画等		—								
		行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—			実施項目名	—			
		目的 (何のために)		し尿を適正に収集することにより、公衆衛生の向上を図る。								
		対象 (誰を・何を)		くみ取り式便所の町民、事業者等								
内容		一般家庭及び事業者から排出されるし尿を委託により適正かつ効率的に収集する。										

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	
		財源内訳	千円	41,830	42,920	42,920	42,936	
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他		2,250	2,053	2,071	2,203
	一般財源	39,580	40,867		40,849	40,733		
	職員人数 (概算職員数)	人	0.65	0.65	0.37	0.45		
	人件費計 (b)	千円	3,146	3,146	1,857	2,341		
総事業費 (a) + (b)	千円	44,976	46,066	44,777	45,277			
事業費内訳 (千円) R 04 年度		し尿収集運搬委託料42,936千円						
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			—			—		
	指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	汲み取り世帯数・事業者数	世帯	—	159	146	136	110
	活動指標 (活動量)	し尿収集量	kℓ	計画値	365	329	292	219
				実績値	359	367	—	—
成果指標 (達成度等)	1kℓ当たりの処理経費 (直接事業費/し尿収集費)	円	目標値	114,658	130,456	147,041	100,000	
			実績値	119,554	116,948	—	—	
			達成率	104.3%	89.6%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある	
		過去の外部評価等における指摘事項	—		
	主な改善経過(過去4年間)	—			
	課題	公共下水道整備の推進に伴い、対象世帯が減少傾向にあり、収集量は減少傾向にあるが、必要不可欠な事業のため、安全で効率の良い事業運営が必要。			

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	<b>維持</b>	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	
		理由	引き続き事業を継続し、町内の衛生的な生活環境の保全を図る必要がある。							
	課題解決に向けて着手する取組事項	R04年度	—							
		R05年度	—							
	R04年度改善事項	—								
	記入日									
	令和5年3月20日									

予算事業名	し尿処理事業							事業番号	04 - 15 - 08			
細分事業名	—							シート作成日	令和4年8月10日			
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	03	事業	02	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

計画 (Plan)	総合計画	P	柱	—								
			部門	—								
			大施策	—								
			中施策	—								
			施策目標	—								
	事業の概要	根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
		個別計画等		大磯町一般廃棄物処理基本計画、平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画								
		行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—			実施項目名	—				
		目的 (何のために)	し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理することにより、公衆衛生の向上を図る。									
		対象 (誰を・何を)	し尿及び浄化槽世帯、事務所									
内容	町内より収集されたし尿及び浄化槽汚泥を、し尿処理施設において適正に中間処理を行うとともに、施設の運転及び維持管理を実施する。また、中間処理により発生した汚泥等については、平塚市ごみ焼却場で処理する。											

実施 (Do)	執行体制		全部委託					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	
		財源内訳	国庫支出金	千円	58,250	60,655	55,228	62,051
			県支出金	千円		562		
			起債	千円				
			その他	千円	33,857	43,125	37,326	42,098
			一般財源	千円	24,393	16,968	17,902	19,953
	職員人数 (概算職員数)	人	0.45	0.45	0.19	0.26		
	人件費計 (b)	千円	2,480	2,495	1,089	1,503		
	総事業費 (a) + (b)	千円	60,730	63,150	56,317	63,554		
事業費内訳 (千円) R 04 年度	消耗品11,200千円、印刷製本費57千円、光熱水費19,483千円、修繕料800千円、手数料2,497千円、委託料27,745千円、使用料及び賃借料219千円、原材料費50千円							
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			—			—		
	指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	し尿及び浄化槽人口	人	—	11,900	10,409	10,011	8,814
	活動指標 (活動量)	し尿及び浄化槽汚泥量	kℓ	計画値	7,400	5,585	5,329	4,526
				実績値	6,718	6,583	—	—
成果指標 (達成度等)	1t当たりの処理経費 (直接事業費/し尿及び浄化槽汚泥量)	円	目標値	9,063	10,175	7,131	6,000	
			実績値	9,029	8,389	—	—	
			達成率	99.6%	82.4%	—	—	
定性的成果	—							

評価 (Check)

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
	今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
過去の外部評価等における指摘事項	—			
主な改善経過 (過去4年間)	町現業職員の減により、し尿処理施設の運転管理を全面委託とした。			
課題	施設の老朽化が進んでいる中、ごみ処理広域化で平塚市のし尿・浄化槽汚泥の受け入れを行っており、施設更新時期の延期に伴い計画的な維持整備計画を検討する必要がある。			

改善 (Action)

区分	維持	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持
今後の方向性の判断	理由	引き続き、事業を継続し、し尿等を適正に処理する必要がある。					
課題解決に向けて着手する取組事項	R04年度	既存施設の適正管理や設備等について、平塚市との施設の処理機構や公共下水道の進捗を踏まえ、引き続き検討・調整を行う。令和3年度に実施した汚泥再生処理センター建設候補地でのボーリング調査にて埋設廃棄物が確認されたことから、美化センター敷地内の地質調査等の計画策定業務委託を行う。					
	R05年度	既存施設の適正管理や設備等について、平塚市との施設の処理機構や公共下水道の進捗を踏まえ、引き続き検討・調整を行う。令和3年度に実施した汚泥再生処理センター建設候補地でのボーリング調査にて埋設廃棄物が確認されたことから、令和4年度に策定する美化センター敷地内の地質調査等の計画に基づき令和5年度に地質調査を行う。					
R04年度改善事項	令和3年度に実施した汚泥再生処理センター建設候補地でのボーリング調査にて埋設廃棄物が確認されたため、美化センター敷地内の土壌調査等の調査計画案・必要手続きについて調整し、計画を策定した。また、節電対策として、8月下旬より一部設備の日中運転の停止を開始した。						
記入日	令和5年3月20日						

予算事業名	し尿処理施設維持整備事業					事業番号	04 - 15 - 09					
細分事業名	—					シート作成日	令和4年8月15日					
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	03	事業	05	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名					課等名					係名		
産業環境部					美化センター					施設係		

計画 (Plan)	総合計画	P 63	柱	Ⅱ 快適でくらしやすいまちづくり									
			部門	18 廃棄物処理									
			大施策	A 廃棄物処理の推進									
			中施策	(4) し尿処理体制の推進									
			施策目標	既存施設の適正管理									
	事業の概要			根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
				個別計画等	大磯町一般廃棄物処理基本計画、平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画								
				行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—			実施項目名	—			
				目的 (何のために)	し尿処理施設の機能維持のため。								
				対象 (誰を・何を)	し尿処理施設								
			内容	供用開始 (昭和53年竣工) から40年以上経過しているし尿処理施設の機能維持のため、機器整備及び補修等を実施する。									

実施 (Do)	執行体制		全部委託					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	
		財源内訳	千円	29,920	38,445	37,400	38,000	
			国庫支出金	千円				
			県支出金		8,074	10,009	9,786	8,199
			起債					
			その他		12,500	14,386	18,502	21,601
	一般財源	9,346	14,050		9,112	8,200		
	職員人数 (概算職員数)		人	0.65	0.75	0.81	0.92	
	人件費計 (b)		千円	3,829	4,430	4,781	5,429	
総事業費 (a) + (b)		千円	33,749	42,875	42,181	43,429		
事業費内訳 (千円) R 04 年度		工事請負費38,000千円						
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			—			—		
	指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	し尿及び浄化槽人口	人	—	11,900	10,409	10,011	8,814
	活動指標 (活動量)	し尿及び浄化槽汚泥量	㎏	計画値	7,400	5,585	5,329	4,526
				実績値	6,718	6,583	—	—
成果指標 (達成度等)	1t当たりの処理経費 (直接事業費/し尿及び浄化槽汚泥量)	円	目標値	9,063	10,175	7,131	6,000	
			実績値	9,029	8,389	—	—	
			達成率	99.6%	82.4%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (Check)

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
	今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価等における指摘事項	—		
主な改善経過 (過去4年間)	し尿処理施設更新の検討を行うとともに、現有施設の維持整備項目について、運転管理者や現業職員と打合せを行い、整備項目及びスケジュール精査を行った。			
課題	施設の老朽化が進んでいる中、ごみ処理広域化で平塚市のし尿・浄化槽汚泥の受け入れを行っており、設備を適正に維持管理するためには、し尿処理施設更新事業のスケジュールを考慮しながら整備計画を見直し、計画的に整備していく必要がある。			

改善 (Action)

今後の方向性の判断	区分	<b>維持</b>	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持
	理由	引き続き、事業を継続し、し尿処理施設の維持整備を適正に行う必要がある。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R04年度	既存施設の適正管理や設備等について、し尿処理施設更新事業の進捗を踏まえ、引き続き整備計画の検討及び調整を行う。低濃度PCBを含有する高圧受変電設備の更新及び取りはずしたPCB含有機器の処分を行う。						
	R05年度	既存施設の適正管理や設備等について、し尿処理施設更新事業の進捗を踏まえ、引き続き整備計画の検討及び調整を行う。低濃度PCBを含有する高圧受変電設備の更新及び取りはずしたPCB含有機器の処分を行う。						
R04年度改善事項	既存施設の適正管理や設置等について、し尿処理施設更新事業の進捗を踏まえ、引き続き整備計画の検討及び整備を行うとともに、受変電設備の微量PCBが含まれた電気設備の更新計画を作成した。							
記入日	令和5年3月20日							